

基本情報

垣内 清明さん（上段写真左端）

◆栽培品目

柑橘（加工品用も含む）

◆外国人材の受入れ

ウィディヤ スリー ルスタリさん

社内での呼び名（愛称） ウィディ

（上段写真左から2番目）

ザラ ヌル ライラさん

社内での呼び名（愛称） ザラ

（上段写真左から3番目）

アンディナ ルビー アプリリアさん

社内での呼び名（愛称） ディナ

（上段写真左から4番目）

（女性、24歳、インドネシア、特定技能1号、
派遣形態（※））3名とも同じ

※PERSOL Global Workforce 株式会社
より令和7年10月から4カ月間受入れ



※写真 選果場にて従業員とともに撮影



※写真 生産現場の果樹園と加工品

受入れのきっかけ

- ・近年、需要に対し供給が追いついていないことから生産規模を拡大したが、農繁期の労働力確保が課題となっていた。
- ・当初は日本人従業員のみで経営する予定であったが、農業法人協会の会員や周辺農家から外国人材の仕事ぶりの評価を聞いて、農繁期（10月から4カ月間）に受け入れることとした。

外国人の業務内容・受入れの効果

- ・みかんの収穫、収穫物コンテナのトラックへの積み込み、出荷用段ボール箱の組み立て、袋詰め用のシール貼り及びDMの発送準備を行ってもらっている。
- ・雇用1カ月間で作業技術はかなり向上し、1日に1人当たりコンテナ20箱分のみかんを収穫できるようになったことで計画出荷が見込め、仕事ぶりには満足している。
- ・どんな人材が働きに来てくれるのか分からなかったが、今は安心している。

生活や教育に関する支援

- ・住宅については、会社敷地の隣にある自動車教習所の合宿所が稼働しない時期に、その管理棟の一軒家を借りることができた。
- ・週休は日曜日と、他に1日取得してもらっており、外国人材3名は同じ日が休みになるよう配慮している（3名で地元のお祭りに出かけたりしたとのこと）。
- ・社員交流の一環として休日に社員同士でショッピングモールに行くこともあり、外国人材も一緒に出掛けている。

今後の展開や取組

- ・派遣でのスポット雇用という選択肢は、繁忙期が違う産地と人材の共有ができていると感じており、今後も農繁期には活用したい。

特定技能外国人の声

（ウィディヤ スリー ルスタリさん（写真左から1番目））

- ・インドネシアの大学で農業を勉強しましたので、日本の農業を学びたいと思いました。日本の農業の技術や栽培方法や商品の販売システムなどはとても素晴らしいと思います。日本の農産物が好きです、特に果物が一番大好きです。日本の果物はとても美味しいです。
- ・私たちが困っている時、いつも会社の人々は助けてくれます。私たちは車を運転できないので、遠いところに行きたいとき、社長がいつも連れていってくれます。

（ザラ ヌル ライラさん（写真左から3番目））

- ・日本の農業はテクノロジーをたくさん使っていて、とても便利できれいだと思います。全てが整理されていて素晴らしいです。だから、将来のために、日本の農業をたくさん勉強して農業のビジネスを作りたいと思います。
- ・日本語は難しいですが、スマートフォンの翻訳機能を使ったり、周りの人たちに手伝ってもらったりして慣れてきました。日本語能力を上げたいです。

（アンディナ ルビー アプリリアさん（写真左から2番目））

- ・私は日本の文化と技術に興味があります。インドネシアで農業の勉強をしましたので、日本でも農業についてたくさん勉強したいです。日本の農業で使っている技術はインドネシアより進んでいると思います。
- ・会社の人たちは、私たちが日本語が分からない時に分かりやすい言葉で話してくれます。仕事ではコミュニケーションが大事なので日本語能力上達が今後の目標です。



※写真 生産現場の果樹園でのみかん収穫作業